

## CIGRE WG A3.27 第 6 回会議実施概要

### 1. WG の概要

- (1) WG 名: WG A3.27 The Impact of the Application of Vacuum Switchgear at Transmission Voltage (真空開閉機器の変電適用における技術課題調査)
- (2) 内容: 各国における高圧 VCB の開発および適用状況、VCB 変電適用時の影響度、GCB と VCB の遮断現象の比較、技術課題について調査する。
- (3) 委員: R.Smeets 主査(オランダ)のほか、米国、ドイツ、中国、インド、韓国、イギリス、スウェーデン、カナダ、フランス、イスラエル、オーストラリア、ブラジル、日本からの 31 名の代表委員で構成。
- (4) 活動: これまでに、第 1 回アーネム(2009,7,9~10)、第 2 回西安(2010,3,18~19)、第 3 回パリ(2010,8,26~27)、第 4 回ダルムシュタット(2011,4,11-12)、第 5 回ピッツバーグ(2011,10,4~5)の 5 回の会議を開催しており、今回、第 6 回会議を東京で開催。

### 2. 東京会議の概要

- (1) 日時: 2012 年 4 月 18 日(水), 19 日(木)
- (2) 場所: 東京国際フォーラム 会議室
- (3) 出席者: 4 頁のリストに記載の 21 名
- (4) 概要:

(1 日目)

#### ・WG 会議 (9:00~17:00)

主査を含む WG 委員に、香山 A3 国内委員長を加えた計 21 名にて会議を実施。前回会議での宿題事項、トピックスの紹介に続いて、各国の SF6 規制動向各社動向、VCB と GCB の遮断現象の比較、VCB の電氣的寿命などが報告された。また作成を進めてきた Technical Brochure のドラフトについて、各章担当者による改定案のレビューを実施した。

#### ・JNC 主催懇親会(品川プリンスホテル) (18:30~21:30)

WG 会議の参加者に同伴者 2 名を加えた 23 名にて懇親会を実施。SC A3 国内分科会 香山委員長の挨拶で開始し、交流を深めた。

(2 日目)

#### ・WG 会議 (9:00~15:00)

1 日目に続き、Technical Brochure のドラフトについてレビューを実施した。真空劣化監視、試験内容・試験方法に関して審議を行い、今回の特記事項として、真空遮断器の特性、GCB の遮断現象の相違を考慮した試験方法について活発な議論が行われた。

今後、次回 11 月にベルリン、来年 5 月に米国で最終会議を開催し、Technical Brochure を完成させる予定。



CIGRE WG A3.27 會議狀況



參加者記念攝影

CIGRE WG A3.27 東京会議 出席者リスト

	氏名	国	所属	備考
1	Rene Smeets	オランダ	KEMA	WG主査
2	Magnus Backman	スウェーデン	ABB	WG委員
3	Rene Doche	カナダ	Hydro Quebec	WG委員
4	Lutz Drews	ドイツ	Areva T&D	WG委員
5	Martin Eiselt	ドイツ	Siemens AG	WG委員
6	Mietek Glinkowski	アメリカ	ABB Inc.	WG委員(同伴者有)
7	Sunil Hambarde	インド	NTPC India	WG委員
8	Naoaki Inoue	日本	三菱電機	WG委員
9	Hiroki Ito	日本	三菱電機	WG委員、次期A3本部委員長
10	Dave Johnson	アメリカ	コンサルタント	WG委員
11	Sandeep Kulkarni	インド	Crompton & Greaves	WG委員
12	Zhiyuan Liu	中国	西安交通大学	WG委員
13	Peter Meyer	アメリカ	S&C Electric Company	WG委員
14	Frank Richter	ドイツ	Siemens AG	WG委員
15	Hitoshi Saito	日本	明電舎	WG委員
16	Kosuke Sasage	日本	東芝	WG委員
17	R. Kirkland Smith	アメリカ	Eaton Electric	WG委員
18	Caroline Watier	フランス	RTE	WG委員(同伴者有)
19	Satoru Yanabu	日本	東京電機大学.	WG委員
20	Yimin You	中国	西安高压電器研究院	WG委員
21	Haruhiko Koyama	日本	三菱電機	A3国内委員長